

施策名：先端技術への挑戦～大分県版第4次産業革命「OITA4.0」の推進～

事業名	担当課・室名	ページ
次世代モビリティサービス導入推進事業	工業振興課	1 / 4
ドローン産業振興事業	新産業振興室	1 / 4
おおいたIoTプロジェクト推進事業	情報政策課	1 / 4
姫島ITアイランド構想推進事業	情報政策課	1 / 4
アバター戦略推進事業	情報政策課	2 / 4
IT人材確保支援事業	情報政策課	2 / 4
モバイルワーク推進事業	情報政策課	2 / 4
ICT活用業務効率化推進事業	情報政策課	2 / 4
庁内情報基盤運営管理事業	情報政策課	3 / 4
情報セキュリティ対策高度化事業	情報政策課	3 / 4
番号制度対応基盤システム整備事業	情報政策課	3 / 4
番号制度対応基盤システム整備事業	教育財務課	3 / 4
電気通信格差是正事業	情報政策課	4 / 4
豊の国ハイパーネットワーク運営管理事業	情報政策課	4 / 4

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
1	次世代モビリティサービス導入推進事業 (R1 ~ R3) 工業振興課 移動に関する課題を解決するため、次世代モビリティサービスの効果的な導入に向けた検討及び実証実験を実施する。	①次世代モビリティサービス実証実験のテーマ設定 18,000 ②次世代モビリティサービス導入に向けた検討 2,000	検討会開催数 [回]	目標値		4	3	次世代モビリティサービス実証実験数 [件]	目標値		1	1	A	
				実績値		4	-		実績値		2	-		
				達成率		100.0%	-		達成率		200.0%	-		
				[箇所]	目標値		1		1	事業の成果・今後の方針 令和元年度は検討会を設立したことにより、各分野の代表と次世代モビリティサービスの検討体制を整備することが出来た。また、高齢者の移動手段の確保と福祉施設の送迎負担の軽減等、足下の移動課題の解決に繋がる実証実験を行うことができた。 引き続き、移動課題の解決や効率性の向上に留まらず、地域の交通事業者や周辺施設等を巻き込みながら、新たな価値を創出する仕組みを実証実験等も実施しながら検討する。				
					実績値		2		-					
達成率		200.0%	-	達成率										
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値										
予算		20,000	20,000	実績値										
決算		19,330	-	達成率										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
2	ドローン産業振興事業 (H29 ~ R3) 新産業振興室 ドローン産業のさらなる振興を図るため、大分県ドローン協議会による研究開発や技術者育成等の支援を行うとともに、ドローンフェスタ開催による情報発信及びドローン物流の事業化に向けた実証実験を実施する。	①地域課題を解決するドローン物流の社会実装 35,612 ②大分県ドローン協議会 29,135 ③ドローンフェスタの開催 12,000	機器開発・ソフトサービス開発支援件数 [件]	目標値	5	5	5	補助金交付事業対象企業に係る出荷量 [機体]	目標値	100	150		B
				実績値	4	9	-		実績値	94	140		
				達成率	80.0%	180.0%	-		達成率	94.0%	93.3%		
				[回]	目標値	9	9		事業の成果・今後の方針 大分県ドローン協議会の活動等を通して、研究開発支援やセミナー、研修による人材育成などの実施により、ドローンの社会実装の範囲が広がり出荷量が増加した。ドローン産業は、技術開発・検証フェーズから、実用化・実証フェーズに移行していることから、今後は、ドローンによる地域課題解決や先駆的なドローンの実証実験・利用基盤の構築等に取り組むことで、ドローンの社会実装を加速させ、効果創出を図る。 ※令和2年度の成果指標「県内ドローンの製造・サービスの売上高」（目標値：6.8億円）				
					実績値	10	9						
達成率	111.1%	100.0%	達成率										
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	人材育成研修受講者数 [人]	目標値	15	15	50	目標値				
予算	56,783	79,053	84,404	実績値	69	30	-	実績値					
決算	51,897	76,718	-	達成率	460.0%	200.0%	-	達成率					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
3	おおいIoTプロジェクト推進事業 (H29 ~ R1) 情報政策課 県内企業によるIoT、AI（人工知能）、ビッグデータ等先進的技術を活用したビジネス創出促進のため、大分県IoT推進ラボを運営し、先進的プロジェクト等に対する支援を行う。	①IoT等先端技術を活用した地域課題解決型プロジェクトに対する補助 37,464 ②オープンデータ利活用促進イベントや県内IT企業の県外展開に向けた支援等の委託 7,284 ③OITA4.0推進セミナー等の開催等IoTプロジェクトの紹介・周知 658	IoTプロジェクトに対する補助件数 [件]	目標値	5	5		IoTプロジェクト認定件数 [件]	目標値	11	11		B
				実績値	5	4			実績値	14	10		
				達成率	100.0%	80.0%			達成率	127.3%	90.9%		
				[件]	目標値	3	2		事業の成果・今後の方針 今年度は事業の組替えにより、大分県IoT推進ラボのプロジェクト認定審査会を1度しか開催出来なかったため、目標値を達成することが出来なかった。しかし、認定した事業の中から、防災・減災のためのプラットフォームの構築プロジェクト等有望なプロジェクトが複数生まれている。令和2年度は「先端技術挑戦プロジェクト推進事業」として、引き続き県内企業による先端技術挑戦を活用したプロジェクト開発の支援を行うとともに、5Gを活用した実証実験等先端技術への挑戦の取組をさらに拡大していく。				
					実績値	2	3						
達成率	66.7%	150.0%	達成率										
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	IoT先進セミナー等の開催件数 [件]	目標値	4	4		目標値				
予算	54,353	49,193		実績値	6	4		実績値					
決算	52,386	43,621		達成率	150.0%	100.0%		達成率					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価
4	姫島ITアイランド構想推進事業 (H30 ~ R2) 情報政策課 離島や過疎地域等の条件不利地域において、県外からのIT企業や人材の呼び込みを加速するため、姫島村をモデルに姫島ITアイランド構想を推進する取組を支援する。	①企業が実施する姫島村の課題解決に向けた先駆的なプロジェクトへの支援 16,226 ②村外から企業や人材を呼び込むためのイベント開催、開発合宿の誘致 8,110	課題解決に向けた先駆的プロジェクトへの補助件数 [件]	目標値	1	2	2	IT企業の姫島における事業実施件数 [累計：件]	目標値	4	8	8	A
				実績値	1	2	-		実績値	4	-		
				達成率	100.0%	100.0%	-		達成率	100.0%	100.0%		
				[件]	目標値	4	4		事業の成果・今後の方針 課題解決に向けた先駆的なプロジェクトへの補助では、村内に進出したIT企業と地元企業との連携により、水産物の販路拡大に向けたプロジェクト等が実施できた。また、村内外の親子が参加するプログラミングキャンプや、東京や福岡での情報発信イベントを開催するなど、ITアイランドの情報発信が出来た。 引き続き、IT企業・人材の更なる呼び込みに向けて、交流イベントの開催や人材の呼び込み、情報発信に取り組むとともに、先端技術を活用した教育・人材育成施策を展開する。				
					実績値	4	5						
達成率	100.0%	125.0%	-	達成率									
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値				目標値					
予算	59,296	25,243	31,337	実績値				実績値					
決算	58,603	22,941	-	達成率				達成率					

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
5	アバター戦略推進事業 (R1 ~ R3) 情報政策課 遠隔操作ロボット「アバター」による新産業の創造や県内の課題解決を図るため、体験型観光や人手不足対策等の分野における有効性の実証を行うとともに、「アバター」を活用した教育活動を展開する。	①アバターを活用したサービスの実証やアバターの開発に係る費用の補助等 30,538 ②移動・コミュニケーションアバターの導入及びそのアバターを活用した遠隔社会見学の実施等	アバターを活用した実証件数	目標値		5	7	アバターを活用したサービスの実用化件数	目標値		1	4	A	
				実績値		7	-		実績値		2	-		
				達成率			140.0%	-	【件】	達成率		200.0%	-	
			アバターを活用した教育活動実施校数	目標値		20	20	事業の成果・今後の方針						
				実績値		5	-	今年度のアバター戦略推進事業は、補助対象となった事業が、次年度からサービスの実用化が予定されているなどの成果を挙げることができた。令和2年度では、県内企業を中心とした「アバター産業創出塾」を立上げ、アバターに関連する企業を招聘し勉強会や体験会、アイデアソン・ハッカソンなどの実施により県内企業のアバターに対する知見を深め、本県のアバター産業の更なる活性を促す。						
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度											
予算		34,225	82,821											
決算		31,670	-											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
6	IT人材確保支援事業 (H29 ~ R2) 情報政策課 大分県版第4次産業革命「OITA4.0」を支える基盤であるIT人材の確保・育成のため、若い世代に向けたIT技術に対する興味喚起、AIやビッグデータを活用できる人材やセキュリティ人材の育成、県外IT企業・人材との交流促進など、世代別・体系的な施策を実施する。	①小中高生に対しプログラミング教室、ワークショップなどを開催 4,702 ②県内IT企業の現役技術者による即戦力人材育成事業への支援 3,000 ③情報セキュリティセミナー及び資格取得対策講座の実施 1,663	未来のIT技術者発見事業における参加者数	目標値	80	120	120	未来のIT技術者発見事業参加者の中でプログラミング、IoTへの興味向上した者の割合	目標値	100.0	100.0	100.0	B	
				実績値	79	141	-		実績値	94.5	98.4	-		
				達成率	98.8%	117.5%	-	【%】	達成率	94.5%	98.4%	-		
			アプリ等開発人材育成支援事業参加者の修了割合	目標値	70.0	70.0	70.0	事業の成果・今後の方針						
				実績値	64.7	94.4	-	プログラミング体験教室では、子どもたちの興味を惹きつける内容で実施し、参加者の満足度やプログラミングに対する興味が98.4%となりITに触れるきっかけづくりができた。また、アプリ等開発人材育成支援事業は、県内IT企業で働く人材の輩出にもつながっている。引き続き、即戦力となるIT人材の確保を支援するとともに、子どもの頃からITへの興味関心を高める教育を充実するなど、世代別・体系的なIT人材育成施策を展開する。						
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度											
予算	12,882	14,024	14,866											
決算	10,583	12,564	-											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
7	モバイルワーク推進事業 (H29 ~) 情報政策課 多様化・高度化する県民ニーズに対し行政サービスの向上を図るため、農業・観光・災害など各分野でタブレット端末を活用し、直接県民・企業に接する職員の現場対応力を強化する。	①タブレット端末を利用したモバイルワーク利用環境の整備 48,358 ②グループウェアのスマートフォン利用環境の整備 5,878	タブレット端末稼働数	目標値	98	550	550	現場対応した職員の利用満足度	目標値	70.0	90.0	90.0	A	
				実績値	98	550	-		実績値	76.6	90.0	-		
				達成率	100.0%	100.0%	-	【%】	達成率	109.4%	100.0%	-		
			スマートフォン端末登録数	目標値	1,200	1,200	2,400	事業の成果・今後の方針						
				実績値	1,540	2,154	-	既存の120台（うち20台はテレワーク）に加え、今年度450台の追加調達を予定どおり実施した。配備先は、地方機関勤務職員を中心に行い、現場での即対応や移動時間等の有効活用により、業務効率化を図った。また、新型コロナウイルス感染防止における在宅勤務や、福祉保健関係所属への特例対応も行った。						
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度											
予算	28,807	54,235	106,796											
決算	28,806	54,235	-											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価	
8	ICT活用業務効率化推進事業 (R1 ~) 情報政策課 長時間労働の是正に向けた職員行動指針に基づき公務能率の向上を図るため、ICTの積極的な活用に取り組むとともに、AI、RPA (Robotic Process Automation) を導入する。	①PCの定型作業の自動化 9,791 ②会議等の音声データの文字おこし 902	RPA導入事務数	目標値		9	21	RPA等を導入した事務に係る縮減時間数(9業務)	目標値		486	3,560	D	
				実績値		9	-		実績値		173	-		
				達成率			100.0%	-	【時間】	達成率		35.6%	-	
			議事録A I活用会議数	目標値		98	147	事業の成果・今後の方針						
				実績値		308	-	RPAについては、AI-OCRツールの処理に当初想定以上の時間を要したこと等により、目標の486時間の削減には至らなかった。令和2年度は12業務の導入を予定しており、今回の課題を整理し、目標達成に向けて取組を継続する。議事録作成AI支援システムについては、利用件数は、令和元年度想定98件に対し実績値が308件と大きく超える状況であり、今後も利用普及の周知に努める。						
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度											
予算		14,636	20,529											
決算		10,691	-											

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
9	庁内情報基盤運営管理事業 (H9 ~) 情報政策課 情報通信技術の飛躍的發展に伴い、行政の効率化・高度化の観点から庁内の情報化を推進するため、情報基盤の総合的な運営・管理を行う。	①一般事務用や貸出用のパソコンの配備 133,661 ②配備パソコンの利用をサポートするヘルプデスク運営 15,077	職員へのパソコン配備率	目標値	100.0	100.0	100.0	庁内ネットワーク稼働率(計画停止は除く) 目標値 100.0 100.0 100.0 実績値 100.0 100.0 - 達成率 100.0% 100.0% - 【%】 達成率 100.0% 100.0% -	事業の成果・今後の方針 部長会議等において、庁内ネットワークを活用し、タブレット端末を使用したペーパーレス会議が定着しつつある。今後は、OKパソコンを庁内会議室に持ち込めるよう無線LANの利用・整備に向けた検証を行う。	A					
			ヘルプデスクサービス品質保証達成率	目標値	100.0	100.0	100.0				目標値 実績値 達成率				
			達成率	100.0%	100.0%	-									
			区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値								
			予算	157,027	167,973	164,442	実績値								
決算	155,828	167,435	-	達成率											

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
10	情報セキュリティ対策高度化事業 (H28 ~) 情報政策課 サイバー攻撃から個人情報等を守るため、「自治体情報セキュリティクラウド」を整備し県及び市町村のセキュリティを強化し、情報セキュリティ対策の高度化を実施する。	①仮想ブラウザ環境のセキュリティ水準向上 177,660 ②セキュリティクラウドの安定稼働並びに公開系サーバのセキュリティ水準向上 45,257	セキュリティクラウド運用管理業務定例会	目標値	12	12	12	セキュリティインシデント発生件数 目標値 0 0 0 実績値 0 0 - 達成率 100.0% 100.0% - 【件】 達成率 100.0% 100.0% -	事業の成果・今後の方針 平成29年度の大分県自治体情報セキュリティクラウド運用開始以降、サイバー攻撃等による情報セキュリティインシデントは発生していない。令和3年度末をもって運用期間が満了するため、システム更改に向けて検討を進めていく。	A					
			公開系サーバに対するセキュリティ診断	目標値	2	2	2				目標値 実績値 達成率				
			達成率	100.0%	100.0%	-									
			区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	仮想ブラウザ環境へのセキュリティパッチ適用回数	目標値	12	12	12				
			予算	248,339	247,950	248,308	実績値	12	12	-					
決算	244,331	243,892	-	達成率	100.0%	100.0%	-								

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
11	番号制度対応基盤システム整備事業 (H26 ~) 情報政策課 「番号法」に基づき国が整備した情報提供ネットワークシステムと情報連携を行うため、団体内統合宛名番号管理システムの整備および運用を行う。	①団体内統合利用番号連携サーバの運用 11,852	番号連携サーバ定例会議実施回数	目標値	12	12	12	サーバの稼働率(計画停止は除く) 目標値 100.0 100.0 100.0 実績値 100.0 100.0 - 達成率 100.0% 100.0% - 【%】 達成率 100.0% 100.0% -	事業の成果・今後の方針 団体内統合利用番号連携サーバの安定稼働により番号制度の情報連携が図られた。国等からの情報収集を行い、必要な措置を講ずる等引き続きシステムの安定稼働に努める。	A					
			達成率	100.0%	100.0%	-									
			目標値												
			区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	実績値								
			予算	7,891	11,852	14,016	達成率								
決算	7,888	11,849	-												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
12	番号制度対応基盤システム整備事業 (H28 ~) 教育財務課 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき、国が整備する情報提供ネットワークシステムとの情報連携を行うため、県が運営する団体内統合利用番号連携サーバの運用保守を行う。	①団体内統合利用連携サーバの運用保守 5,937	番号連携サーバ定例会議実施回数	目標値	12	12	12	サーバの稼働率(計画停止は除く) 目標値 100.0 100.0 100.0 実績値 100.0 100.0 - 達成率 100.0% 100.0% - 【%】 達成率 100.0% 100.0% -	事業の成果・今後の方針 平成29年度以降、サーバ稼働率は100%であり、運用保守は適切に行われている。今後も番号連携サーバ定例会議を通じた適正な運用保守を行う。	A					
			達成率	100.0%	100.0%	-									
			目標値												
			区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	実績値								
			予算	5,616	5,937	6,083	達成率								
決算	5,614	5,914	-												

事務事業評価 令和元年度実績

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
13	電気通信格差是正事業 (H3 ~) 情報政策課 市町村が行う移動通信用鉄塔施設整備事業に対して、携帯電話不感地域の解消を図るため、国とともに補助を実施する。	①移動通信用鉄塔施設の整備に要する経費の一部を助成 9,507 [箇所] 情報交換など不感地域解消への働きかけ [市町村数] 携帯電話キャリアとの情報交換、働きかけ件数 [件]	事業実施箇所数	目標値	1	1	1	携帯電話利用可能エリア世帯数 [世帯カバー率]	目標値	100.0	100.0	100.0	B		
				実績値	0	0	-		実績値	99.9	99.9	-			
				達成率	0.0%	0.0%	-		達成率	99.9%	99.9%	-			
			区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	7	7	7	事業の成果・今後の方針 今年度は携帯キャリアおよび市町村への働きかけの結果、玖珠町に対して年度内に交付決定通知を行った。 令和2年度は、豊後大野市が事業化を予定しているほか、不感地域解消のため、引き続き携帯キャリアおよび市町村への働きかけを行う。 (翌年度繰越額 8,149千円)				
			予算	0	9,507	33,918	実績値	7	7	-					
決算	0	0	-	達成率	100.0%	100.0%	-								

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標	達成度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	評価		
14	豊の国ハイパーネットワーク運営管理事業 (H13 ~) 情報政策課 ネットワークの安定運用を図るため、伝送路の維持管理、ネットワークの24時間監視と運用管理(構成管理、性能管理、セキュリティ管理及び障害対応等)を行う。	①ネットワーク機器リース、保守料 28,824 [回/年] ②ネットワーク監視、運用管理委託料 23,502 [回/年] ③ネットワーク伝送路保守料 15,721 [回]	ネットワーク中央管理施設～各地域のネットワーク拠点間の通信品質維持のための伝送試験	目標値	12	12	12	稼働率：ネットワーク中央管理施設～各地域のネットワーク拠点の間(計画停止は除く) [%]	目標値	100.0	100.0	100.0	A		
				実績値	12	12	-		実績値	100.0	100.0	-			
				達成率	100.0%	100.0%	-		達成率	100.0%	100.0%	-			
			区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値	1	1	1	事業の成果・今後の方針 豊の国ハイパーネットワークは構築から20年近い年数が経過しており延命化の取組が必要である。 光ケーブル間を接続する機材の内部に浸水腐食することによる通信障害も考えられる。ネットワークの中央管理施設(データセンター)～各地域のネットワーク拠点(アクセスポイント)間の通信品質維持のための伝送試験については、光ケーブル間を接続する機材の内部の浸水有無確認も兼ねており、引き続き取り組んでいく。				
			予算	104,385	92,150	103,245	実績値	1	1	-					
決算	102,585	85,405	-	達成率	100.0%	100.0%	-								